

平成 20 年度第 2 回京都市図書館協議会摘録

日 時 平成 21 年 3 月 23 日 (月)
13 時 ~ 14 時 30 分

場 所 京都市生涯学習総合センター
3 階 第 4 研修室

出席委員 [10 名中 6 名出席]
岩永 ひとみ委員
杉村 良子 委員
千葉 和子 委員
原田 憲一 委員
不破 哲 委員
山岡 祐子 委員

(五十音順)

傍聴人数 0 名

1 開会

中西中央図書館長の挨拶

2 協議事項

(1) 子ども読書活動推進に向けた図書館の取組について

幼稚園 PTA を中心に「ノーテレビ・ノーゲームデー」の取組が進められている。京都市図書館としても、この機会を子ども読書の推進の絶好のチャンスとするとともに、新たな子ども読書活動推進の取組を考えたい。

(2) 意見交換

<ノーテレビ・ノーゲームデーの意義>

- ・ 学生に読書の習慣がないため、知的生産はおろか知的荒廃が進んでいる。早い時期（幼児期）に読書の習慣を身につけることが必要だ。
- ・ 「ノーテレビ・ノーゲームデー」は幼児期の読書習慣習得に非常に有意義である。
- ・ 小学校でも「ノーテレビ・ノーゲームデー」の取組について、学校だより、学年だより及び朝会で紹介している。今後、全市小学校に広がることを目指す。
- ・ 親子の対話が非常に重要である。対話の時間を確保する「ノーテレビ・ノーゲームデー」の取組は有意義である。

< 図書館としての取組のあり方 >

- ・ 図書館としてこの取組をいかに読書につなげるかを考えなければならない。
- ・ 図書館が「ノーテレビ・ノーゲームデー」の取組を地道かつ直接的に来館者に周知できないか。(例えば、毎月16日が該当日であり、取組の仕方を紹介するなど。)
- ・ 小学校では朝の読書活動と図書館の利用の組み合わせることで、子どもの読書への動機付けにつなげられないか。
- ・ 乳幼児を持つ親が集まる場所に図書館職員が出向き、読書のあり方などを巡回指導できないか。(ゲームで遊び始める幼稚園入園前の子どもには非常に有益)
- ・ 幼稚園時期の読み聞かせをすることは非常に重要である。
図書館では「赤ちゃん絵本の会」など乳幼児むけの取組も行っている。今後、保健所などと連携を強化してまいりたい。
- ・ 自然の中で本を読むことも重要。移動図書館を自然豊かな公園に派遣し、自然の中で読書ができる環境を作ってみてはいかがか。
- ・ 母親向けの読み聞かせ講座を行ってみることも有意義である。(母親の中には読み聞かせをしてもらったことのない人もいる。)そして、この講座を受けた人の中から将来読み聞かせを中心的に行ってくれる人が出てきてくれればありがたい。

< 図書館への要望 >

- ・ 図書館での読み聞かせの充実
- ・ 乳幼児を持つ親への読み聞かせの重要性の周知

2 報告事項

事務局から資料に基づき、以下の項目について報告した。

- (1) 平成20年度図書館利用状況について
 - ・ 20年度貸出冊数(2月末時点)は前年同期比12.2%の大幅増で、過去最多であった19年度を上回ることは確実。
 - ・ CD・DVDの全館での予約・取寄せの開始や各館で様々な創意工夫を図り図書館利用拡大に向けて取り組んでいることも大きい。
- (2) 子ども読書の日記念事業(平成21年4月18日実施予定)及び各館の取組について
 - ・ 平成21年度の子ども読書の記念事業は4月18日(土)～26日(日)に開催し、「子ども読書の日」記念の集いを4月18日(土)14時から実施する予定である。

- (3) 図書館の利便性向上について（図書館返却ポストの地下鉄駅等への設置）
- ・ 図書館返却ポストを地下鉄駅等にも設置し，市民の利便性の向上を図る。
- (4) 学校団体貸出利用状況について
- ・ 平成21年度2月時点での学校団体貸出の利用状況は，昨年度の学校協力貸出の利用回数・貸出冊数を大幅に上回った。各図書館と学校との関係がより深まったと思われる。

3 質疑応答

< 意見 >

- ・ CD・DVDの貸出数が多いなど図書館の利用数が増えていると聞いたが，今後はその質の向上を目指していく必要がある。
- ・ 読書の質，特に良書にいかにかかるとかを考える必要がある。インターネット予約の導入など図書館の利便性の向上は確保できていると考える。
ただ，インターネット予約により図書館で本を探し，思わぬ一冊と出会う「サプライズ」がなくなっているのも事実である。
- ・ 子どもについて言えば，読書する子とそうでない子との開きがある。多くの子どもが本に接することができるよう取組が必要。
- ・ 学校団体貸出の利用数が予想以上に多く驚いている。今後は，地理的に図書館から離れている学校へのサービスのあり方を考えてほしい。（図書館職員の派遣など）
- ・ 図書館職員（司書）の資質向上をさらに図ることが重要である。
- ・ 図書リクエストについて，どのような基準で対応しているのか。
図書館としてはできるだけ要望にこたえるよう配慮している。
ただ，高度な内容の専門書などについては，公立図書館の一般性の性格からその必要性は低いと判断し，リクエストがあっても購入はしていない。
- ・ ベストセラー本が非常に借りにくい。
図書館としても需要に応えるべくできるだけ多くの冊数を確保している。ただ，ベストセラーはその人気が一過性であり，長期的な利用を考えて購入する必要がある。

5 閉会